

狼煙 vs 特急 再び

文化調査会 来月5日「信玄公祭り」でリレー



前回の「信玄公祭り 狼煙リレー」の際に有賀城跡で上げられたのろし=2023年10月28日



前回、上諏訪駅前では書状を受け取る足軽装束の伝令役
⑤=2023年10月28日

戦国武将の武田信玄が通信手段として用いたのろしを再現する「信玄公祭り 狼煙リレー」が4月5日、諏訪地方と山梨県内で行われる。甲府市で開かれる「信玄公祭り」(4月4~6日)に合わせた催し。諏訪市から信玄が本拠地とした甲府市の躰躰ケ崎館跡(武田神社)までの7市町19カ所をのろしをつなぎ、JR中央東線の特急あずさと伝達の早さを競う。(山本雄太)

諏訪地方の城跡・城址保存会や住民有志でつくる「狼煙文化調査会(秋山大一代表)の主催(山梨県武田信玄狼煙リレー実施協議会、大昔調査会共催)。前回「信玄公祭り」が開かれた2023年10月に続き、2回目となる。今回は、上諏訪駅からあずさに乗って移動した伝令役より、のろしの方が8分早く伝達を終えた。今回は、林城松本市を本拠とする信濃国守護の小笠原長時の

諏訪市から甲府市 伝達速度競う

軍勢が伊那谷に攻め入ったことを、諏訪郡代の板垣信方が信玄に伝える”この想定で行う。”現代の早馬”として、上諏訪駅で足軽装束の伝令役3人が書状を受け取ってから、午前11時33分発のあずさに乗車。甲府駅で降り、武田神社までの約2キロを自転車移動する。のろしは、伊那との中継地点である有賀城跡(諏訪市)の煙を確認した後、あずさ出発と同時に上諏訪駅近くの茶臼山にある高嶋城跡からリレーをスタート。大熊城跡、幕岩、武居城跡(以上、同市)、上原城跡、鬼場城跡、小泉山(以上、茅野市)、鼻戸屋狼煙台跡(富士見町)を経て山梨県に入り、北杜市、韮崎市、甲斐市、甲府市とつなぐ。リレーには総勢約120人が関わる。

上諏訪駅前では午前10時50分から、狼煙リレー出発・書状伝達式を開催。有志による演武や書状の受け渡しなどが行われた後、子どもたちが「竹ぼら」を吹いた合図でリレーが始まる。秋山代表は「ぜひ多くの方がのろしを楽しむとともに、地元の史跡や里山を知り親しむ機会になってほしい」と話している。